

戦火のウクライナは今

— 玉本英子さん 取材映像報告 —



ミサイル攻撃を避け、地下の防空シェルターで学ぶ子どもたち



攻撃によって破壊された病院



ミサイルなどによる攻撃では、市民の死傷者も絶えない



チョルノービリ原発4号炉の制御室

9/26
土

13:00～14:30

戦争は、人々の暮らしに何をもたらすのでしょうか。2026年、3カ月にわたりウクライナを取材した玉本さんの映像を通して、戦時下を生きる人々の今を伝えます。戦闘地域で続くドローン攻撃。現地で目にした人々の暮らしと、過酷な戦争の実態を報告します。また、事故から40年を迎えるチョルノービリ原子力発電所の内部や、周辺地域で暮らす人々の現在についても紹介します。ウクライナの今を知り、苦難の中にある人々に心を寄せる機会として、ぜひご参加ください。

会場 南千里地区公民館 視聴覚室

大阪府吹田市津雲台1-2-1
千里ニュータウンプラザ7階

定員 40名（先着順）

参加費 無料

お申し込み QRコードを読み取って
お申し込みください！



受付開始 9月1日(火)～

講師



玉本 英子（たまもと えいこ）

戦火に苦しむ女性や子どもの視点に立った取材姿勢が評価され、第54回ギャラクシー賞報道活動部門優秀賞を受賞。

「イラク・シリア報告」で第26回坂田記念ジャーナリズム賞特賞を受賞。

アジアプレス所属の記者。アフガニスタン、イラク、シリアなどの紛争地を長年取材。ウクライナには2022年以降5回渡航し、滞在は延べ1年以上に及ぶ。現在も各地で、平和と戦争を伝える講演活動をしている。

主催：公益財団法人吹田市国際交流協会(SIFA)

☎ 06-6835-1192（平日9:00～17:30）

✉ info@suita-sifa.org

SIFA HP



Facebook



Instagram

